

Date Mailed Feb. 21, 2006

整理番号 0203565
発送番号 070086
発送日 平成 18 年 2 月 21 日

拒絶理由通知書

特許出願の番号	特願 2002-131238	
起案日	平成 18 年 2 月 17 日	
特許庁審査官	大車 江一	7447 2C0
0		
特許出願人代理人	樺山 亨 (外 1 名) 様	
適用条文	第 29 条第 2 項	

この出願は、次の理由によって拒絶をすべきものである。これについて意見があれば、この通知書の発送の日から 60 日以内に意見書を提出して下さい。

理 由

この出願の請求項 1～4 に係る発明は、その出願前日本国内又は外国において頒布された下記の刊行物 1、2 に記載された発明に基いて、その出願前にその発明の属する技術の分野における通常の知識を有する者が容易に発明をすることができたものであるから、特許法第 29 条第 2 項の規定により特許を受けることができない。

記

(引用文献等については引用文献等一覧参照)

請求項 1～4 について 刊行物 1、2

刊行物 1 には、体積平均粒径が $4 \sim 7 \mu\text{m}$ で、 $5 \mu\text{m}$ 以下のものが $60 \sim 80$ 個数%のトナーを含む現像剤を用いて潜像担持体上に形成されている静電潜像の可視像処理および可視像の転写工程を行った後、転写されたトナー像を定着する定着装置が記載されている。(請求項 1、【0001】)

刊行物 2 には、トナー層を担持したシートの搬送路を挟んで対向する定着ローラ 1 および加圧ローラ 2 を備え、芯金 20 の外周に多孔質のシリコンゴム層 21 と、その表面にカーボンを含有した PFA 樹脂で形成し、その表面抵抗値を $10^{10} \Omega$ 以下にした加圧ローラ 2 を有する定着装置が記載されている。(請求項 1、【0008】～【0013】、図 1、図 2)

刊行物 1 に記載のトナーを含む現像剤の定着装置として刊行物 2 に記載の定着装置を採用することは格別の困難性がない。

刊行物 2 に記載のシリコンゴム層 2 1 は絶縁層であると認められる。

引用文献等一覧

1. 特開 2000-267340 号公報
2. 特開平 09-222816 号公報

この拒絶理由通知の内容に関して不明な点がありましたら、下記までご連絡下さい。

特許審査第 1 部事務機器 六車江一
TEL. 03(3581)1101 内線 3219

先行技術文献調査結果の記録

・調査した分野 I P C 第 7 版 G 0 3 G 1 5 / 2 0